



ACT コマンド

この章では、Cisco ONS 15454、ONS 15327、ONS 15310-CL、ONS 15310-MA、および ONS 15600 の activate (ACT) コマンドについて説明します。

1.1 ACT-USER

(Cisco ONS 15454、ONS 15327、ONS 15310-CL、ONS 15310-MA、ONS 15600) Active User (ACT=USER) コマンドは、Network Element (NE; ネットワーク要素) とのセッションを開始します。

使用上のガイドライン

- 次のセキュリティ コマンドについては、パスワードがマスキングされています：ACT-USER、COPY-RFILE、COPY-IOSCFG、ED-PID、ENT-USER-SECU、および ED-USER-SECU。何らかの方法で TL1 セッションにアクセスした場合、パスワードはマスキングされます。Cisco Transport Controller (CTC) Request History and Message Log にも、マスキングされたコマンドが表示されます。パスワードマスキング コマンドを CTC Request History からコマンドをダブルクリックして再発行した場合も、CTC Request History and Message Log でパスワードはマスキングされます。以前に実行した実際のパスワードは NE に送信されます。以前のコマンドをテンプレートとしてだけ使用する場合は、CTC Request History でコマンドを 1 回クリックします。コマンドは Command Request テキスト ボックスに挿入され、再発行する前に該当のフィールドを編集できます。
- このコマンドは、次のルールに従う ONS 15454 2.x のソフトウェア バージョンのユーザ ID およびパスワードと下位互換性があります。
- ACT-USER:[TID]:[STRING]:CTAG::[STRING]
- ユーザ ID (最初の [STRING]) およびパスワード (2 番めの [STRING]) の構文はチェックされません。
- ユーザ ID とパスワードの無効な構文は許可されますが、ユーザがログインできるのはユーザ ID/パスワードがデータベース内のものと一致する場合だけです。
- ユーザ ID およびパスワードは 10 文字以下にしてください。
- ACT-USER コマンドの場合は、ログインが許可または拒否されたかどうかを伝える以外、エラー コードは送信されません。Telcordia TR-835 の「Appendix A」の「Section A2」では、「...ACT-USER コマンドでは拒否されたことを示す場合以外、セッション要求にエラー コードを提供する必要がないため、ACT ... に対応するエラー コードは ACT-USER コマンドには適用されない。セッションを確立する前に、特定のエラー コードが、不正な侵入を試みる侵入者の手掛かりとなる可能性がある」と記述されています。

1.1 ACT-USER

- 設定によっては、新規ユーザは初回セッション確立後、処理を続行する前にパスワードを変更する必要がある場合もあります。ED-PID および CANC-USER 以外のすべての TL1 コマンドは、パスワードが変更されるまで拒否されます。パスワードを変更すると、割り当てられているセキュリティ レベルで許可されているどのコマンドでも実行できます。パスワードを変更せずにログアウトすると、パスワードが変更されるまで、後続の各セッションで ED-PID および CANC-USER 以外のすべてのコマンドが拒否されます。Release 4.6 以降では、この機能のオンとオフの切り替えが可能になっています。デフォルトではオフになっています。

カテゴリ	セキュリティ						
セキュリティ	—						
入力形式	ACT-USER:[<TID>]:<UID>:<CTAG>::<PID>;						
入力例	ACT-USER:PETALUMA:TERRI:100::MYPASSWD;						
入力パラメータ	<table border="1"> <tr> <td><UID></td> <td>ログインするユーザの識別子 (ユーザ ID)。UID は、10 文字以内の英数字を組み合わせて指定できます。UID はストリングです。ヌルにはできません。</td> </tr> <tr> <td><PID></td> <td>ユーザ パスワード。PID は 10 文字以内の英数字を組み合わせて指定できます。パスワードはセキュリティのために暗号化され、アスタリスク (*) で表示されます。PID はストリングです。ヌルにはできません。</td> </tr> </table>	<UID>	ログインするユーザの識別子 (ユーザ ID)。UID は、10 文字以内の英数字を組み合わせて指定できます。UID はストリングです。ヌルにはできません。	<PID>	ユーザ パスワード。PID は 10 文字以内の英数字を組み合わせて指定できます。パスワードはセキュリティのために暗号化され、アスタリスク (*) で表示されます。PID はストリングです。ヌルにはできません。		
<UID>	ログインするユーザの識別子 (ユーザ ID)。UID は、10 文字以内の英数字を組み合わせて指定できます。UID はストリングです。ヌルにはできません。						
<PID>	ユーザ パスワード。PID は 10 文字以内の英数字を組み合わせて指定できます。パスワードはセキュリティのために暗号化され、アスタリスク (*) で表示されます。PID はストリングです。ヌルにはできません。						
出力形式	<pre>SID DATE TIME M CTAG COMPLD “<UID>:<LASTLOGINTIME>,<UNSUCCESSFULLOGINS>” ;</pre>						
出力例	<pre>TID-000 1998-06-20 14:30:00 M 001 COMPLD “TERRI:2003-01-02 14-04-49,0” ;</pre>						
出力パラメータ	<table border="1"> <tr> <td><UID></td> <td>ログインするユーザの識別子 (ユーザ ID)。UID は、10 文字以内の英数字を組み合わせて指定できます。UID はストリングです。ヌルにはできません。</td> </tr> <tr> <td><LASTLOGINTIME></td> <td>NE に最後に正常に接続した日付と時刻 (現在のログインは含みません)。LASTLOGINTIME はストリングです。</td> </tr> <tr> <td><UNSUCCESSFULLOGINS></td> <td>最後に成功したログイン以降にログインに失敗した回数。UNSUCCESSFULLOGINS は整数です。</td> </tr> </table>	<UID>	ログインするユーザの識別子 (ユーザ ID)。UID は、10 文字以内の英数字を組み合わせて指定できます。UID はストリングです。ヌルにはできません。	<LASTLOGINTIME>	NE に最後に正常に接続した日付と時刻 (現在のログインは含みません)。LASTLOGINTIME はストリングです。	<UNSUCCESSFULLOGINS>	最後に成功したログイン以降にログインに失敗した回数。UNSUCCESSFULLOGINS は整数です。
<UID>	ログインするユーザの識別子 (ユーザ ID)。UID は、10 文字以内の英数字を組み合わせて指定できます。UID はストリングです。ヌルにはできません。						
<LASTLOGINTIME>	NE に最後に正常に接続した日付と時刻 (現在のログインは含みません)。LASTLOGINTIME はストリングです。						
<UNSUCCESSFULLOGINS>	最後に成功したログイン以降にログインに失敗した回数。UNSUCCESSFULLOGINS は整数です。						